

東京都立つばさ総合高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2

単位対象学年組：第 1 学年 1組～ 6組

教科担当者：（1 組：金澤・平）（2 組：金澤・平）（3 組：金澤・平）（4 組：大塚・平）（5 組：大塚・平）（6 組：大塚・平）

使用教科書：（ 家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来 教育図書 ）

教科の目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通じて、社会の構築に向けて、創造する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、衣食住、消費や環境などについて理解し、技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題解決をする力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に向けて、課題の解決に主体的に振り返り改善することができる。

家庭基礎の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自立した生活を送るために必要な知識及び、衣食住生活に関する技術を身に付ける。	環境問題や社会問題を解決し、よりよい生活を送るために自ら考え、人にそれを伝える力を身に付ける。	目的意識をもって学習に取り組み、仲間と意見交換し、よりよい社会と自立した生活を目指す意識を培う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当時間
1 学 期	生活設計、人の一生と生涯発達 【知識及び技能】 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期をどのように生きるか考え、生活設計をする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯発達の視点で各ライフステージの発達課題に関心を持ち、学習活動に取り組む。	指導事項： 自分たちはライフステージにおける青年期にいることに気づかせる。 教材： 教科書、資料集、プリント	【知識及び技能】 各ライフステージの特徴と課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期をどのように生きるか考え、生活設計をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯発達の視点で各ライフステージの発達課題に関心を持ち、学習活動に取り組むことができる。	○	○	○	3
	青年期と家族 【知識及び技能】 家族生活を支え法律を理解する。 現代の家族問題と解決のための社会的な仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて、具体的に考え、意見をまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 家族・家庭と社会との関わりに関心を持ち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組む。	指導事項： 家族・家庭とは何かを、さまざまな観点から考えてさせ、他者と意見交換し自分なりの価値観を築けるよう指導する。 青年期をどのように生きるか考え、生活設計させ、18歳で大人になるという自覚を持たせる。 教材： 教科書、資料集、プリント	知識及び技能】 家族生活を支え法律を理解することができる。現代の家族問題と解決のための社会的な仕組みを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて、具体的に考え、意見をまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族・家庭と社会との関わりに関心を持ち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組むことができる。	○	○	○	3
	保育 【知識及び技能】 子どもの心身の発達の特徴、遊びの意義を理解する。子どもの権利と福祉について理解する。 現代の子どもを取り巻く環境の変化と課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の子どもを取り巻く環境の変化や課題についてまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組む。	指導事項： 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を知り、子どもにとって良い環境について考えて自分なりの意見を持たせる。親の役割や愛着の大切さ、生命の尊さ、子どもを生み育てることの意義を考えさせる。 育児休業について、他国と比較して考えを深めさせる。 教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材、妊婦体験、新生児人形	【知識及び技能】 子どもの心身の発達の特徴、遊びの意義を理解する。子どもの権利と福祉について理解することができる。 現代の子どもを取り巻く環境の変化と課題について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の子どもを取り巻く環境の変化や課題についてまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組むことができる。	○	○	○	10

	高齢期 【知識及び技能】 高齢期の特徴を捉え、将来像としての高齢者について考える。 高齢者を取り巻く社会課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立した生活を支えるために、家族・地域・社会の役割を具体的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考える。	指導事項： 家族や地域の実態知り、高齢期の特徴を理解させる。高齢者を取り巻く社会課題を調べさせ、改善策を考えさせる。 教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材	【知識及び技能】 高齢期の特徴を捉え、将来像としての高齢者について考えることができる。 高齢者を取り巻く社会課題を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立した生活を支えるために、家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考えることができる。	○	○	○	6
	共生社会 【知識及び技能】 自助、互助、共助、公助について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインを調べ、まとめ、発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 共生社会実現のために、自分に何ができるかを考える。	指導事項： 社会保障制度のしくみや他の国の現状を知り、自分なりに考えを深めさせる。 共生社会の実現のために、社会の一員として何ができるかを考えさせる。 教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材	【知識及び技能】 自助、互助、共助、公助について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインを調べ、まとめ、発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 共生社会実現のために、自分に何ができるかを考えることができる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	
	衣生活 【知識及び技能】 生活と衣服の関わり、衣服機能について理解する。エプロン製作を通じ、布の縫い方やミシンの使い方など、基本的な技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 衣生活に関する学習を通して、自身の着装について考え、まとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし、着用目的に応じて健康的な衣服選択と着装をする。	指導事項： 自身の衣生活の分析をさせ、衣服や日常の衣生活に関心を持たせる。衣服の表示を理解させ日常生活で活用させる。 実験や実習を通して、基本的な衣服製作の技術を身に付けさせる。 教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材、製作教材	【知識及び技能】 生活と衣服の関わり、衣服機能について理解する。エプロン製作を通じ、布の縫い方やミシンの使い方など、基本的な技術を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 衣生活に関する学習を通して、自身の着装について考え、まとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし、着用目的に応じて健康的な衣服選択と着装をすることができる。	○	○	○	1 4
2 学期	食生活 【知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や食材・調理器具の扱い方や調味料の計量の仕方調理室の使い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題と比較して、まとめ、発表する。 自分の住む地域や他の地域の食文化について調べまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとする。 調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図る。	指導事項： 日常用いられる食品に含まれる栄養素の種類や機能、おもな食品の特徴について理解させる。調理実習により調理技術を身に付けさせ、年齢、性別、宗教などのさまざまな背景や考え、相手に配慮した献立を考えさせる。 日本の食文化を理解させ、食生活の伝統をひきつぐ主体であることを認識させる。 教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材、調理器具等	知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や食材・調理器具の扱い方や調味料の計量の仕方調理室の使い方について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題と比較して、まとめ、発表する。 自分の住む地域や他の地域の食文化について調べまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 栄養素や食品の知識を生かして、自分や家族の食生活を改善しようとすることができる。 調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図ることができる	○	○	○	1 4
	定期考査			○	○	○	

3 学 期	住生活 【知識及び技能】 安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け、環境にも配慮した住生活について理解する。住まいの機能を理解し、適切な住まいについて考える。 【思考力、判断力、表現力等】 防災への備えについてまとめ、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 住居の安全性や防災の知識を生かして、家庭生活において具体的な行動に移す	指導事項： 自然などの災害に備えや家庭事故の要因を理解させ、安全な住居についての基礎知識を身に付けさせる。私たちの暮らしが地域と繋がっていることを知らせ、まちづくりに参加する重要性を理解させる。 教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材	【知識及び技能】 安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け、環境にも配慮した住生活について理解する。住まいの機能を理解し、適切な住まいについて考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 防災への備えについてまとめ、発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 住居の安全性や防災の知識を生かして、家庭生活において具体的な行動に移すことができる。	○	○	○	6
	経済計画と消費生活 【知識及び技能】 生活費と家計の関係や消費者信用について理解する。 消費者問題と、消費者の権利や支援制度について理解し、適切な消費行動について考えて実践する。消費行動における意思決定の過程とその要因について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ、発表する。 消費者の責任について考え、今後の課題と解決方法について発表し、意見交換する。 【学びに向かう力、人間性等】 収入と支出のバランスを考え、自分の家計簿をつけるなど工夫する。 消費者問題について自分ごととして捉えて対策しようとしている。また、他の人への啓発の意識をもつ。	指導事項： 生涯を見通した経済計画の重要性について理解させ、18歳で「大人」になるという自覚をもたせ、大人と未成年の違いについて理解させる。さまざまな決算方法について知り、それぞれのメリット・デメリットや自分にあった利用方法について考えさせる。 自分の消費行動が社会の与える影響について理解させ、持続可能な社会のためにどう行動したらよいか考えさせる。 教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材	【知識及び技能】 生活費と家計の関係や消費者信用について理解することができる。 消費者問題と、消費者の権利や支援制度について理解し、適切な消費行動について考えて実践する。消費行動における意思決定の過程とその要因について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ、発表することができる。消費者の責任について考え、今後の課題と解決方法について発表し、意見交換することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 収入と支出のバランスを考え、自分の家計簿をつけるなど工夫することができる。 消費者問題について自分ごととして捉えて対策しようとしている。また、他の人への啓発の意識をもつことができる。	○	○	○	6
	環境 【知識及び技能】 SDGsとその背景について理解し、日々の生活と関連付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の生活と環境のつながりについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の生活を見つめ直し、地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考える。	指導事項： 環境問題について基本的な内容を理解させ、持続可能な社会を実現するための社会の取り組みを理解させる。本校のISO活動を通じて授業を展開する。 教材： 教科書、資料集、プリント、視聴教材	知識及び技能】 SDGsとその背景について理解し、日々の生活と関連付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の生活と環境のつながりについて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の生活を見つめ直し、地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考えることができる。	○	○	○	4 合計 70
	定期考査			○	○	○	